



DOCOMO TEAM DANDELION RACING

Team Release

決勝レポート

2018/10/28 Rd-7 鈴鹿サーキット

天候：晴れ 気温：22℃ 出走台数：19台

観客数：27日(土)13,000人 28日(日)23,000人

全日本スーパーフォーミュラ選手権最終戦。伝統あるJAFグランプリ。

例年2レース制で開催された本大会は、今年度250kmの1レースで開催される。

鈴鹿サーキットは快晴、気温22度と心地良い気候で絶好のレースコンディション。

10番グリッドからスタートの松下選手。予選でのマシントラブルから最後尾スタートとなった野尻選手。ともに素晴らしいスタートを決め、松下選手は3ポジションアップの7番手で、野尻選手は17番手にジャンプアップ。ミディアムタイヤスタートながら早めのタイヤ交換を決断した野尻選手は8周目にピットイン。ソフトタイヤへの交換と給油を済ませると、予選モードでタイムを削ってゆく。ソフトタイヤスタートの松下選手は、好ペースを維持。途中ラップタイムの遅いドライバーに追いつくもこれをうまく処理し17周目にピットイン。タイヤ交換後は激しい6番手争いを続け、7位でフィニッシュした。

淡々とタイムを削った野尻選手は、後半タイヤのバイブレーションに悩まされながらも大きく順位を上げ、ポイント目前の9位でレースを終えた。

5：野尻選手 9位 2018 シリーズ ドライバーランキング7位 HONDA 勢2位

金曜日のフリー走行から確実なステップで車を仕上げてきました。予選ではトラブルがありましたが、チームは決勝に向けて素晴らしい車を準備してくれ、最後尾スタートながらポジティブにレース出来ました。勝負どころでキッチリとプッシュし、順位を大きく上げられたのは良かったですね、ポイント獲得したかったですね。

年間を通して予選の速さはお見せできたと思う一方で、決勝ではもっと頑張ることが出来たという反省の思いもあります。皆様に支えられた一年でした。熱い声援、ありがとうございました。

6：松下選手 7位 2018 シリーズ ドライバーランキング10位 HONDA 勢3位

ルーキーオブザイヤー

予選、決勝を通して、車は好調で、ですからなおさら予選でのミスが悔やまれますね。

戦略も良かったし、6番手争いは楽しかったです。

今シーズン、予選決勝を通しての強さをお見せできず、ランキング的にも目標には到底届かない結果となってしまいました。まだまだ吸収すべきことがあり、もっと強くなりたいと再認識しています。チームはいつも献身的にベストの仕事をしてくれたし、たくさんの人たちからサポートを受け、素晴らしい一年でした。

DOCOMO TEAM DANDELION RACING

2018 シリーズ チームランキング5位 HONDA 勢2位